

令和2年度自動車整備士技能検定実技試験

〔二級自動車シャシ整備士〕

問題用紙

令和2年11月29日

受験番号	第 号	氏名	
------	-----	----	--

〔注意事項〕

1. 受験番号及び氏名を該当欄に記入して下さい。
2. 問題の中には解答の記入を必要としているものもあります。解答の記入は問題用紙の該当欄に記入して下さい。ただし、**思考席では記入しないで下さい。**
3. 問題用紙の余白部分には自由に記載することができます。
4. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、**重複故障はないこと**とします。
5. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

〔不正行為等について〕

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいて下さい。
2. 試験時間中（試験会場内）において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正行為があったものとみなし、当該試験を無効とする場合があります。
3. その他、試験員の指示に従って受験して下さい。

【問題 1】

ここにあるブロワ・スイッチ及びブロワ・レジスタについて、次の各問に答えなさい。なお、必要事項は台上にある留意事項に記載しています。

問1. サークット・テスタを用いて、ブロワ・スイッチの『1』、『2』、『3』、『4』の各ポジションで、測定する端子欄に示す端子間の導通状態を確認し、その結果を判定結果欄の良又は否のいずれかをそれぞれ○で囲みなさい。

ただし、点検開始前に、どのポジションの点検を行うか採点員に申告し、了解を得てから点検を開始すること。

ポジション		測定する端子	判定結果
ブロワ・スイッチ	1	① ⇔ ⑧	良 ・ 否
	2	① ↗ ↘ ⑥ ⇔ ⑧	良 ・ 否
	3	① ↗ ↘ ⑤ ⇔ ⑧	良 ・ 否
	4	① ↗ ↘ ④ ⇔ ⑧	良 ・ 否

問2. サークット・テスタを用いてブロワ・レジスタの各端子間の抵抗を測定し、判定結果欄の良又は否をそれぞれ○で囲みなさい。

ポジション	測定する端子	判定結果
ブロワ・レジスタ	① ⇔ ③	良 ・ 否
	① ⇔ ④	良 ・ 否
	② ⇔ ④	良 ・ 否

問3. 問1と問2の測定結果から考えられる現象として、適切なものを次の中から1つ選び、その番号を○で囲みなさい。

1. ブロワ・モータがどのポジションでも作動しない。
2. ブロワ・モータが『1』のポジションのみ作動しない。
3. ブロワ・モータが『2』のポジションのみ作動しない。
4. ブロワ・モータが『1』と『2』のポジションで作動しない。
5. ブロワ・モータが『3』と『4』のポジションで作動しない。

【問題 2】

ここにあるオートマチック・トランスミッションのバルブ・ボデー・アッセンブリーについて、次の各問に答えなさい。ただし、バルブ・ボデー本体に異常はない。なお、必要事項は台上にある留意事項に記載しています。

問1. バルブ・ボデーから指定したバルブに装着されているスプリングを取り外して、次の(1)～(3)の測定項目について、ノギスを用いて測定し、測定結果を該当欄に記入しなさい。また測定後に良否判定を行い、良否判定欄の良又は否を○で囲みなさい。

なお、測定結果は、小数点以下第1位まで(小数点以下第2位を切り捨て)記入すること。

測定項目	測定結果	良否判定
	自由長	
(1) プレシャ・レギュレータ・バルブ・スプリング	mm	良 ・ 否
(2) パイロット・バルブ・スプリング	mm	良 ・ 否
(3) ロックアップ・コントロール・バルブ・スプリング	mm	良 ・ 否

問2. 問1の測定結果から、このバルブ・ボデー・アッセンブリーを使用した場合、影響が出るオートマチック・トランスミッションの制御機能として適切なものを制御欄の中から1つ選びその番号を○で囲みなさい。また、発生する現象として、適切なものを現象欄の中から1つ選び、その番号を○で囲みなさい。

制御	現象
1. ライン・プレッシャ制御	1. 燃費が悪化する
2. 変速制御	2. 変速ショックが大きくなる
3. ロック・アップ制御	3. どのレンジでも車は発進しない。

問3. 問1において取り外した各スプリングを元通りに組み付けなさい。ただし、問1の良否判定結果で「否」となったスプリングがある場合は、用意してある交換用スプリングの中から適切なスプリングを選び、交換すること。

【問題3】

ここにあるブレーキ・バルブについて、次の各問に答えなさい。なお、必要事項は台上にある留意事項に記載しています。

問1. ブレーキ・バルブのバルブ・ボデー部を全て単品になるまで分解しなさい。

次に(1)～(3)の部品について損傷の確認を行い、損傷の有無欄の有又は無のいずれかをそれぞれ○で囲みなさい。また、損傷のある項目については、その部品を採点員に提示すること。なお、分解後の再組立ての必要はない。(ただし、プライマリ・ピストンは分解しないこと。)

部品	損傷の有無
(1) セカンダリ・ピストンのシート面	有 ・ 無
(2) アップ・バルブのラバー面	有 ・ 無
(3) プライマリ・ピストンOリング	有 ・ 無

問2. 次の測定項目についてノギスを用いて測定し、測定結果を測定値欄に記入しなさい。なお、測定結果は、小数点以下第2位まで記入すること。

また、測定結果から、プランジャー外径とマウンティングプレートブッシュ内径のすき間を算定し、その結果を算定結果欄に記入するとともに、判定結果欄の良又は否を○で囲みなさい。

測定項目	測定値
(1) プランジャー外径	mm
(2) マウンティングプレートブッシュ内径	mm

算定項目	算定結果	判定結果
(1) と (2) のすき間量	mm	良 ・ 否